

草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ムジンバ県エディンゲニ地域中等学校女子寮建設計画」
署名式

2015年8月31日



右から：西岡大使、ガンビ教育技術科学副大臣、ムカンダウイレ臨時北部教育管区長

2015年8月31日、西岡周一郎大使とムカンダウイレ臨時北部教育管区長は、「ムジンバ県エディンゲニ地域中等学校女子寮建設計画」に関する、草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約を締結しました。本贈与契約署名式は在マラウイ日本国大使館で行われ、ガンビ教育技術科学副大臣が臨席しました。

教育は国づくりの基盤です。人々をエンパワーメントするために、国の社会経済的発展のために、教育への普遍的アクセスは極めて重要です。すべての人々に教育を受ける機会を与えるために、マラウイでは政府及び様々な援助機関が尽力してきました。しかしながら、女子学生が継続して教育を受ける機会はまだに制限されています。実際に本案件が実施されるエディンゲニ地域中等学校では、近年の女子学生の退学率が17.44%と国の平均8.1%(2012年)の2倍以上となっています。女子学生の高退学率の背景には、片道約15kmの距離を毎日歩行通学しなければ

ならない現状、家庭での家事負担、早期結婚、早期妊娠など様々な要因があります。本事業では、エディンゲニ地域中等学校的女子学生が継続して学校で教育を受けられるようにするために、日本政府からの 136,498 米ドルの資金贈与を通じて、北部教育管区が 2 棟の女子寮(合計 112 名収容)の建設し、56 台の 2 段ベッド及び 112 枚のベッド用マットレスを整備します。

式典で西岡大使は、本プロジェクトを実施することで、女子学生が学校教育を継続的に受け、中等教育を修了することができるかと述べました。また、安倍総理が取り組んでいる女性のエンパワメント、「女性が輝く社会の実現」についても言及し、本事業はマラウイにおける女性のエンパワメントにつながるとの考えを示しました。